

「パパやん」と呼ばれた日、オレは本物の父になった。



狂気を内包する
不器用な父性愛と
自己犠牲の連鎖を描いた、
父と娘の物語。

とつと

GOKKO

千原ジュニア

優香 / 平尾菜々花 ちすん 清水富美加

秋野太作 中野英雄 石橋蓮司

監督：熊澤尚人 原作：小路啓之(集英社刊)

脚本：熊澤尚人 / 高橋 泉 製作：前田茂司 セネラルプロデューサー：芳賀正光 プロデューサー：小松俊喜 企画プロデューサー：赤山健太 アソシエイトプロデューサー：篠崎典子 / 渡辺大地
撮影：今村圭佑 照明：織田 誠 音楽：安川午朗 音楽プロデューサー：川村ケンスケ 主題歌：『ほころびごっこ』(indigo la End) 制作プロダクション：楽映舎 企画・制作：タイムズ イン
製作：「ごっこ」製作委員会 配給：バル企画 ©小路啓之 / 集英社 ©2017楽映舎 / タイムズ イン / WAJA 助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (2017/日本/カラー/5.1ch/ビスタサイズ/114分)

ついに映画化。

早世の鬼才・小路啓之が
遺した家族愛の物語、

早世の鬼才・小路啓之原作の「ごっこ」は、一見ほのぼの子育て漫画のようだが、社会の暗部をファンタジックに描いた名作として知られている。今回、実写映画化にあたり、「凶悪」の脚本家・高橋泉と、「ユリゴコロ」で新境地を切り開いた監督・熊澤尚人、そして、役が憑依したかの様に渾身の演技をみせる千原ジュニアと、子どもながらに強い意志を持った眼差しが印象的な平尾菜々花を迎え、狂気を内包する不器用な父性愛と自己犠牲の連鎖を描いた、是非に揺れる家族の物語が誕生した。そして二人を見守る商店街の住人達に優香、秋野太作、中野英雄、石橋蓮司ら実力派俳優たちが顔をそろえる。繰り広げられる温かな日常とは相反して、社会的孤立から生まれた父娘のもらい関係性は、普遍的な家族像とはほど遠いけれども、お互いに唯一無二の存在とし、ともに成長しようとする二人。このごっこ生活に隠された事実が明かされる時、衝撃のクライマックスにあなたは耐えられるか——。



パパやんとヨヨ子の人生を賭けた究極の選択とは——。

大阪の寂れた帽子店には、40歳目前にも関わらずニートの城宮と、5歳児・ヨヨ子の親子が仲睦まじく暮らしていた。実はこの二人、他人に知られてはいけない秘密を抱えた親子だった。十数年ぶりに城宮が実家に戻ったことを知る幼馴染で警察官のマチは、突如現れたヨヨ子に疑いの目を向ける。ごっこ生活のような不安定な二人のその日暮らしはある日突然、衝撃の事実によって崩壊してしまう……。

映画公式サイト <http://gokko-movie.jp>



10.20sat.ロードショー

※特別鑑賞券1,400円(税込)絶賛発売中(当日一般1,800円の処)

ユーロスペース
EUROSPACE

渋谷・文化村前交差点左折
tel.03-3461-0211
www.eurospace.co.jp

